

2020年度 事故防止取組と実施方法及び対策費用年間計画(下半期)

別表1-2

株式会社 名北

名北観光バス

<b>2020年度 安全目標</b>	・車内事故、人身事故、健康起因による事故ゼロ継続 ・軽微な物損事故件数50%削減 ・ バック事故を50%削減
<b>安全のため講じようとする措置</b>	①感染症予防対策に必要な除菌装置導入計画 ②SAS検査の実施計画 ③脳健診の実施計画 ④ストレスチェックの実施計画 ⑤乗務員仮眠施設の新設整備計画

月別	教育名(項目)	重点推進事項(内容)	対象	所要時分	実施(取組)方法	実施場所	対策項目・費用	備考
10	危険予測及び回避並びに緊急時における対応方法	危険予測運転の必要性予知のポイント、事故、故障時の対応とバスジャックを想定した実践訓練 非常用具、消火器、非常口の取扱	全運転士	1時間	危険予測トレーニング教材活用 実際の車両で避難訓練を実施する 安全NEWS発行、閲覧	机上・実地 点呼場所	セーフティラーニング 講座7 月額 運行管理システム10月分	※全社員 3割以上目標
11	運転者の運転適性に応じた安全運転 エコドライブ推進月間 事故防止対策委員会 新型コロナウイルス・インフルエンザ予防	適性診断受診結果の活用 無駄なアイドリング禁止、空ぶかし厳禁、加減速 現業、管理者部門、協力会社様、意見交換会 ◎手洗い、うがいなど感染対策の重要性、注意喚起	全運転士 選出委員・役員 全社員	1時間	自身の運転を振り返り 運転のくせを自覚させ、理解を深める 65歳未満で5年以上未診断者を受診させる エコドライブ推進ポスター掲示 協会会社出席の対策会議、議事録作成 マスク配布、消毒設置、ポスター掲示 安全NEWS発行、閲覧	机上 会議室 点呼場所	適性診断 運行管理システム 利用料 11月分 セーフティラーニング 講座8 月額 マスク、消毒液(全車)	
12	ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転 ヒヤリ・ハット体験等の自社内共有 年末の交通安全県民運動(1日～10日) 飲酒運転根絶・薬物乱用防止運動	自社での記録を活用した危険予測トレーニング 知識の向上、問題解決方法の話し合い事故例 収集・分析・再発防止策 冬の道路の特徴と注意すべきポイント シートベルト着用の徹底 飲酒運転防止・アルコール・薬物についての知識	全運転士 全社員	3時間	当社での蓄積したドラレコ映像を使い チーム分けをして話し合い発表 ヒヤリハットトレーニングシート作成 冬道走行危険注意喚起ポスター掲示 安全NEWS発行、閲覧 飲酒の危険・薬物の影響注意ポスター掲示	すいとびあ江南 点呼場所	施設利用料 福利厚生(弁当) トレーニングシート作成料 運行管理システム 利用料 12月分	※グループ 企業合同参加
2021 1	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法 年末年始輸送安全総点検(1日～5日)	過労状態、技術への過信、慣れ、睡眠不足の影響 日常生活での留意点 運転士が運行中体調不良になった場合の マニュアル熟知 事故防止に関する安全点検・テロ対策等の点検 交通事故、車両火災、緊急時対応マニュアルの 熟知、渋滞予測情報	全運転士 全社員	1時間	睡眠不足、過労運転、ヒューマンエラーなど 心理的要因が及ぼす重大事故の事例確認 マニュアルの保管状況、改定有無確認 自主点検に基づく重点事項の確認 マニュアルの保管状況、改定有無確認 安全NEWS発行、閲覧	机上 実地 点呼場所	セーフティラーニング 講座9 月額 運行管理システム 利用料 1月分 大型車両に除菌装置 設置計画費用	
2	健康管理の重要性 応急手当講習 新型コロナウイルス・インフルエンザ予防 ガイドライン(認定)セミナー リスク管理(認定)セミナー	健康診断に基づき生活習慣病の予防・改善 身体面、精神面の健康管理 ストレスチェックの必要性 緊急時における救命措置の手順 ◎手洗い、うがいなど感染対策の重要性、注意喚起 管理体制全般の構築、改善、推進、取組方法 事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用	全運転士 全社員 役員・統括管理者 役員・統括管理者	1時間 1.5時間 3.5時間 3.5時間	管理栄養士による特定保険指導実施 日常の健康管理必要性を周知 簡易的なストレスチェックのWeb活用 管内の消防署による救命入門コース AEDの使用法、心肺蘇生法 安全NEWS発行、閲覧 国交省認定(ガイドラインセミナー受講) 国交省認定(リスク管理)セミナー受講	すいとびあ江南 点呼場所 セミナー会場 セミナー会場	外部講師 協会けんぽ 福利厚生(弁当) 外部講師 消防署 運行管理システム2月分 セーフティラーニング 講座10 月額 受講料6名 受講料3名	※全社員 3割以上目標
3	安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法 内部監査(認定)セミナー 内部監査 安全マネジメント会議	運転支援装置に関する性能及び留意点 ブレーキ制御装置、車間距離制御装置 ハンドル操作の警告、支援装置 車両姿勢維持支援装置の適切な運転方法 監査方法や監査員の役割、是正、改善措置方法 安全重点施策の実施状況、効果、取組の適合性 本年度の総括、達成状況、実施状況、改善提案 次年度の重点目標、計画、講じる措置、設備計画	全運転士 内部監査員 役員・統括管理者 役員・統括管理者 監査員、現業部門	2時間 3.5時間 2日間	支援装置の誤認による事故例を掲示 ふらつき、車線逸脱、車線維持 車両安定性制御など自社装置を使用して 性能を把握する 国交省認定(内部監査)セミナー受講 監査項目に基づき実施、運用状況をチェック 安全マネジメント会議、議事録作成 乗務員・安全に係る者年間教育、取組計画 安全NEWS発行、閲覧	点呼場所 実地・机上 セミナー会場 点呼場所	運行管理システム 利用料 3月分 セーフティラーニング 講座11 月額 受講料 3名 【年間予算計画】 健診・検査費用 ¥520,000 講習・セミナー費用 ¥230,000 運管・教育システム費用 ¥610,000 設備投資費用 ¥10,000,000	※全社員 3割以上目標